



川岸学園NEWS

～異年齢の子ども達がつながる新たな環境づくりをめざして～ 第17号

川岸学園整備事業の総事業費の見直しと今後の対応について

11月17日(月)の市議会全員協議会において、川岸学園整備事業の総事業費の見直しと、第2期工事(川岸小学校の長寿命化大規模改修工事および接続棟の新築工事)の入札結果について、報告しました。

今年の1月から実施設計を進める中で、より具体的な仕様に基づいて積算を行った結果、当初の概算事業費 約44億6,000万円から約49億6,000万円へと、約5億円の増額の見通しとなりました。

実施設計が完了した段階での総事業費の内訳は下記のとおりです。なお、第1期工事は令和7年6月に契約済みのため実績額、第2期工事以降は設計額となります。

工事区分	概算事業費 (R7.2月時点)	実施設計終了時 (R7.11月時点)	増減
第一期工事(仮設校舎・解体工事)	476,700千円	466,400千円	△10,300千円
第二期工事(長寿命化・接続棟)	2,829,700千円	2,833,200千円	3,500千円
第三期工事(こども園・園校の外構工事)	922,200千円	1,219,000千円	296,800千円
その他(委託料・備品購入費等)	231,000千円	439,200千円	208,200千円
総事業費【合計】	4,459,600千円	4,957,800千円	498,200千円

2月に公表した概算事業費は、類似する建築事例の実績値や標準的な建築単価をもとに積み上げた金額であり、その際にも資材価格の上昇などがある程度見込んでいましたが、実施設計を通じて使用する資材や部材の一つひとつを丁寧に積み上げていく中で、建築資材の高騰や労務単価の上昇が重なり、結果として事業費が増えることとなりました。

なお、財源については、国・県の補助金が約15億5,000万円、市債(借り入れ)が約29億7,000万円となり、事業全体に占める一般財源は約4億4,000万円程度と見込んでいます。国の補助金や、交付税措置のある有利な市債を活用することで財源の確保に努めており、事業の実現に支障はありません。

また、11月5日(水)に実施した第二期工事の「川岸小学校の長寿命化大規模改修工事」と「接続棟施設の新築工事」の入札では、関連する6件の工事のうち、5件が市の設定した予定価格を上回ったため、不調となりましたが、地方自治法施行令に基づき、現在、最低価格を提示した事業者と契約に向けた協議を進めており、この協議結果を踏まえた上で、契約手続きを進めてまいります。

なお、契約が成立した場合、当初予定していた工程より全体で半月ほど工期が遅れる見込みとなりますが、義務教育学校の令和9年4月開校には影響がないと考えております。

市民の皆さまにはご心配とご迷惑をおかけしますが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

工事スケジュール等
の詳細はこちらを
ご覧ください▼

仮設校舎の建築工事の経過について

第一期工事である「仮設校舎の建築工事」は、当初の予定どおり順調に進んでいます！

9月中旬から仮設校舎の建築工事が始まり、仮設校舎が少しずつ出来てきました。今までの経過を写真にまとめてみました。今後、12月前半には仮設校舎が完成する見込みであり、その後、12月の後半から引っ越し作業などの準備が始まり、令和8年1月中旬からは、仮設校舎での学校運営がスタートする予定です。

9月10日(水)



基礎工事に必要な砂や碎石を大量に運び入れています。誘導員を配置し、子ども達の安全に十分配慮しながら、工事を進めていきました。

10月1日(水)



仮設校舎の基礎を造る工程です。地面を掘削したところに鉄筋を配置し、コンクリートを流し込めるように型枠を組んでいきます。

10月8日(水)



学童クラブ棟のプレハブが最初に建てられました。

10月15日(水)



教室棟の床を造っています。束を並べ、水平を保ちながら床板を敷き詰めていきます。

10月29日(水)



教室棟のプレハブも無事に建て終わり、仮設校舎の外観が出来上がってきました。

11月12日(水)



普通教室の床にベニヤ板が敷かれ、今後冷暖房設備や黒板などの搬入が始まります。